



【解答】

1

1. D
2. C
3. A
4. B
5. B

2

1. B
2. C
3. E
4. C
5. C
6. D
7. A
8. D
9. C
10. B

3

1. F
2. F
3. F
4. T
5. F
6. F
7. T

4

1. Actually, [I heard the news at first hand from one of my] colleagues.
2. I trust her. [She is as good as her word].
3. He [was so tired that he fell asleep in spite of himself].
4. [Some lawyers think that the death penalty should be done away with].
5. [It stands to reason that his proposal was rejected].

5

問1 E

問2 C

問3 D

問4 喘息と食物アレルギーをもつ患者がひどい喘息の発作を経験する可能性は、臨床的に食物アレルギーと定義される症状を持たない患者よりも 6.9 倍高かった。

問5 以前の研究は、自己報告に頼っており、食物特異性を有する血清における免疫グロブリンの濃度に頼っていなかった。

【解説】

1

1. D は第 1 音節。その他は第 2 音節。
2. C は第 2 音節。その他は第 1 音節。
3. A は第 2 音節。その他は第 1 音節。
4. B は第 2 音節。その他は第 1 音節。
5. B は第 1 音節。その他は第 2 音節。

2

1. The result of the experiment are (as follows). : 実験の結果は次の通りである。
* as follows 次の通りで
2. Statistics (show) that crime has been increasing in this area. : 統計によれば、この地域では犯罪が増えてきた。
* show (vt.) ~を示す, ~を論証する
3. Ms. Jones is one a maternity (leave). She will not be back until April. : ジョーンズさんは産休をとっています。彼女は 4 月まで復帰しません。
* maternity leave (n.) 産休, 育児休暇
4. Excessive intake of fat can cause cholesterol to accumulate inside the arteries, (thereby) increasing the risk of heart attacks. : 脂肪を取りすぎると、コレステロールが動脈内部に溜まって、それにより心臓発作のリスクが高まる。
* thereby 「それによって、その結果」は、主節と分詞構文とを結び付けている。
5. He studied medicine in Germany in his twenties (at) the expense of the government. : 彼は、政府の費用負担で、20 代の時にドイツで医学を研究した。
* at the expense of (prep.) ~のお金で, ~の費用負担で
6. We sat up all night worrying lest (he be captured) by the troops. : 彼は軍隊に捕らえられないかと心配して、夜通し寝ないで起きていた。
* be captured は仮定法現在。
7. The case (to which) I referred above is rather rare. : 私が上で言及した事例はかなり稀だ。
* refer to A A に言及する
8. Female students accounted (for) nearly half of all the students. : 女子学生は全盛とのほぼ半数を占める。

* account for A A(の割合)を占める

9. I completely forgot my wife's birthday, (what) with one thing and another. : 私は、あれやこれやで、妻の誕生日をすっかり忘れていた。

* what with one thing and another (adv.) あれやこれやで

10. Since the flu virus can make its way through, these masks are (next) to useless. : インフルエンザウイルスが通り抜けるので、これらのマスクはほとんど役に立たない。

* make one's way through 通り抜ける

3

1. 「オックスフォード大の研究では、ビタミン剤を服用したすべての参加者は、他の集団の参加者よりも脳の収縮が 50 パーセント少なかった」 第 6 段第 2 文では、up to fifty percent と述べている。これは、「(最大で)50 パーセントまで」を表すので、単に fifty percent としか書いてない選択肢の内容と異なる。
2. 「それはスミス教授が指揮した研究で、高いホモステイン値だとアルツハイマーのリスクが高くなることを初めて結び付けたものだ」 第 7 段第 2 文で、「それ以前の研究が、高いホモステイン値をアルツハイマーのリスクが高くなることと結び付けていた」と述べている。したがって、スミス教授の研究は「初めて」ではない。
3. 「オックスフォード大の研究者たちは、70 歳以上の人々の 20 パーセント以上が、心的操作に問題を抱えていると述べている」 第 8 段第 1 文では、6 人に約 1 人と述べている。したがって、「20 パーセント以上」ではなく「20 パーセント以下」となるべき。
4. 「スミス教授は、ビタミン B はある種のガンの増殖を加速することを懸念している」 第 10 段第 3 文の内容に一致する。
5. 「これまでに公表されたすべての研究では、ビタミン剤を服用することで、注意・言語・記憶のような能力の喪失を防げることが示されている」 第 12 段第 1~2 文では、そのような「能力の喪失に違いが示されていない」されている。
6. 「ワシントン大のアメリカの科学者チームが行った研究では、タウタンパク質を司る遺伝子の変化がアルツハイマーの発症において比較的小さな役割を果たす」 第 14 段第 1 文で、「タウとして知られているタンパク質を司る遺伝子の変化はアルツハイマーが発症する早さに強く影響する」と述べられている。
7. 「プリンス教授は、認知症によってもたらされる経済的費用に関して世界が負担しなければならない金額についての報告書を書いた」 第 15 段~最終段の議論に一致する。

4

1. at first hand (adv.) 直接に
2. be as good as one's word 約束を守る
3. in spite of oneself (adv.) 思わず
4. do away with A A を廃止する
5. It stands to reason that S V ~するのは当然だ

5

問1 or (conj.) [換言] すなわち

問2 hallmark (n.) 特質 [= feature]

問3 once (conj.) 一度～したら

* 空所の後が副詞節になっているので、従位接続詞が入る。B. Thus や C. Then は副詞なので不可。E の With も前置詞なので不可。残った Since と Once の内から、文脈で Once を選ぶ。

問4 [基準]

- ① NP1 were 6.9 times higher than NP2 : 「NP1 は NP2 より 6.9 倍高かった」
- ② NP1 = The odds of patients with asthma and food allergies experiencing a severe asthma attack : 「喘息と食物アレルギーをもつ患者がひどい喘息の発作を経験する可能性」 《「the 名詞 + of + 動名詞」の語句パターンは同格構文になり、「～するという…」と訳す》
- ③ those without clinically defined food allergies : 「臨床的に食物アレルギーと定義される症状を持たない患者」 《those = the patients》

問5 設問中の「黒人、男性、および子どもに見られる食物アレルギーについての認識がじゅうぶんではない」という記述は、第 8 段第 2 文にある。そして、その直後に because 節があるので、それをまとめればよい。

【ボーダー・ライン】

80 パーセント

【総評】

I 期が大問 4 題だったのに対して、II 期は 5 題になった。

この内訳の変化は、I 期では出題されなかった英作文問題が加わったことによる。

ただし、難易度で言えば、全体として I 期よりもやや易しい。したがって、設問数は増えはしたものの、時間的には無理のない出題になっている。

【各論】

1. アクセント問題 特に問題はない。市販の問題集の知識で解ける。
2. 語法・文法問題 I 期よりも易しい。4 と 6 が文法問題である以外は、語彙力で解ける。
3. 読解問題(内容一致) 本文が全部で 17 段落の構成でありながら、いずれの選択肢でも、第 1 段～第 5 段が問われていない。その意味では、設問がテキスト全体を網羅していないので、選択肢の構成にもう少し工夫が必要であったと言えるだろう。
4. 英作文問題 一語補充型の整序英作文で、昭和大医学部特有の出題である。難易度は多少高いが、5 を除けば普通の語彙力と構文力で解ける。5 は「～は当然だ」を表すのに、It stands to reason that ～を用いるのは多少難しい。
5. 読解問題(空所補充・下線部和訳・内容説明) 空所補充は易しめ。下線部和訳は「同格の of」と「比較構文」がポイントとなっている。内容説明は設問の該当箇所の直後に because 節があるのでわかりやすい。